

COMPANY REPORT & PROFILE

2019 Apr.1st

2019 Sep.30th

第74期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

株式会社 **山善**

証券コード 8051

Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト

第2四半期(累計)業績

売上高

242,862 百万円

前年同期比 7.4% 減

営業利益

6,290 百万円

前年同期比 26.3% 減

経常利益

6,209 百万円

前年同期比 27.4% 減

親会社株主に帰属する四半期純利益

4,036 百万円

前年同期比 29.2% 減

通期業績予想

売上高

500,000 百万円

前期比 5.0% 減

営業利益

14,000 百万円

前期比 22.2% 減

経常利益

14,000 百万円

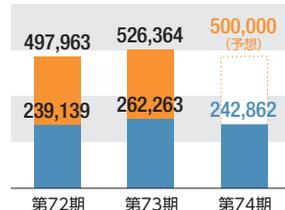
前期比 21.6% 減

親会社株主に帰属する当期純利益

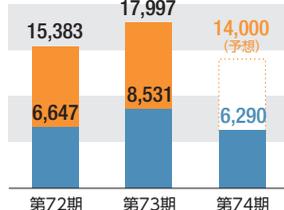
9,500 百万円

前期比 22.0% 減

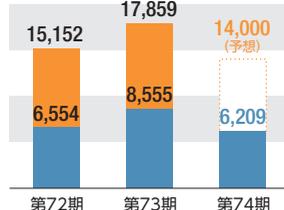
■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



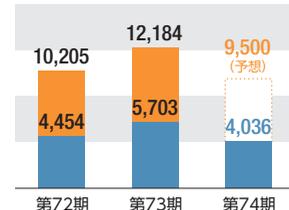
■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



新中期経営計画

「CROSSING YAMAZEN 2021」がスタートしました。

これまで培ってきた専門商社機能を最大限に発揮して、さまざまなものをかけ合わせ新たな価値を生み出し、更なる成長を目指します。

CROSSING YAMAZEN 2021

詳細はホームページ「株主・投資家情報」▶「中期経営計画」をご覧ください

https://www.yamazen.co.jp/japanese/ir/management_plan

新中期経営計画『CROSSING YAMAZEN 2021』がスタートしました

皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第74期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の第2四半期決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内生産財分野では、建設関連需要は堅調に推移したものの、米中貿易摩擦の激化や半導体市場悪化の影響等によって、製造業の設備投資に慎重な姿勢が窺われ、低調となりました。海外生産財分野においては、米国では、自動車販売が減少傾向にあり、設備投資意欲に陰りが見られました。中国では、自動車販売の減少やIT需要の回復遅れ等もあり新規設備投資は大きく冷え込みました。ASEAN諸国では、対中国輸出の減少等は見られましたが、各国のばらつきはあるものの総じて堅調に推移しました。国内消費財分野では、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調にありましたが、相次ぐ災害や天候不順等により、力強さを欠く状況が続きました。一方、住宅関連産業では、従来の予測以上に水廻りリフォーム案件の駆け込み需要が見られました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、242,862百万円(前年同期比7.4%減)、営業利益は6,290百万円(同、26.3%減)、経常利益は6,209百万円(同、27.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,036百万円(同、29.2%減)となりました。

今後とも当社グループは、当期よりスタートした新3か年中期経営計画『CROSSING YAMAZEN 2021(クロッシング ヤマゼン 2021)』の方針に基づき、事業ドメインの垣根を越えてシナジー効果を追求し、更なる企業価値の向上に取り組んでまいります。

皆様には、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 中期経営計画『CROSSING YAMAZEN 2021』の詳細につきましては、当社ホームページをご参照ください。

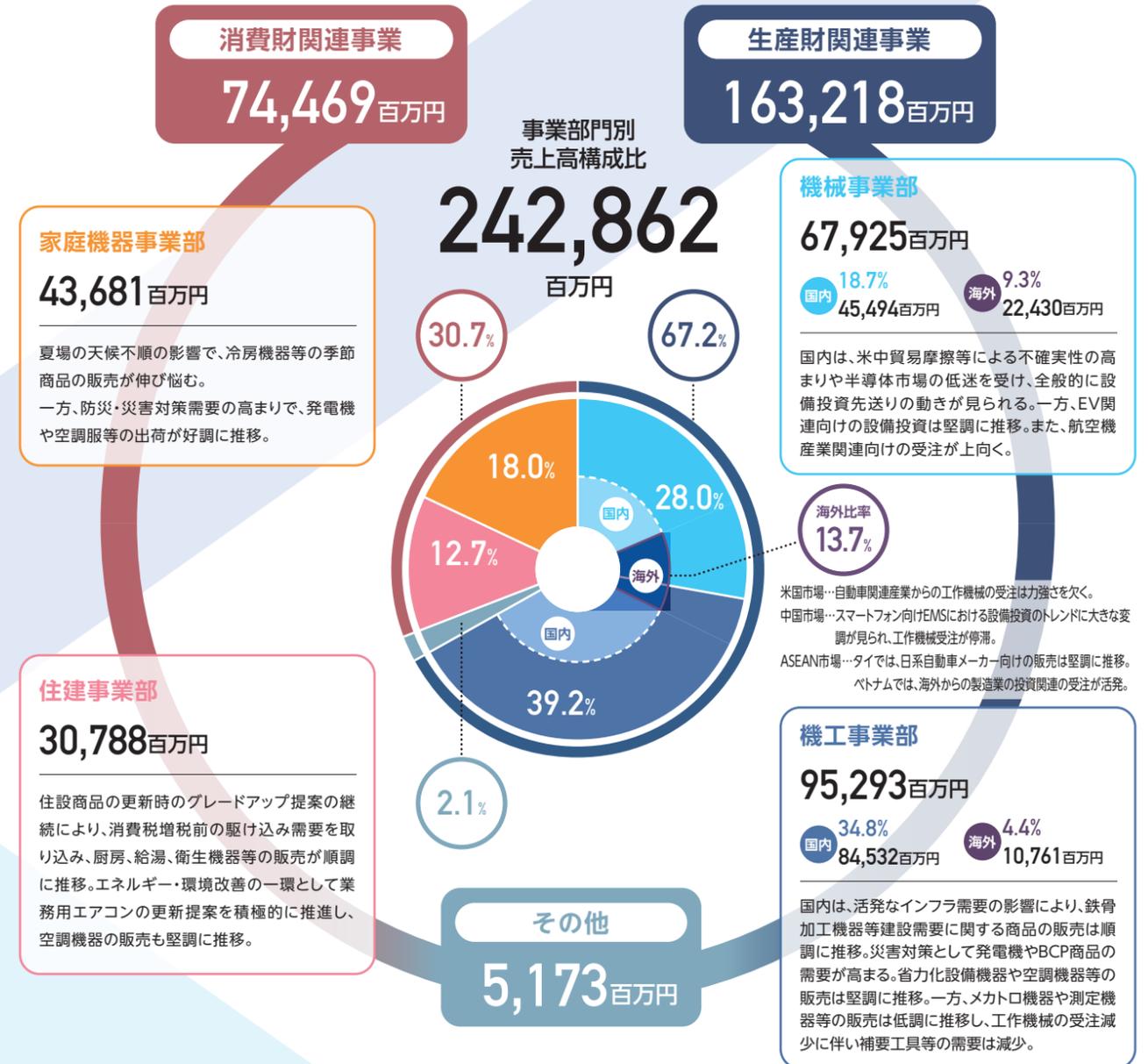


代表取締役社長

長尾雄次

President, CEO & COO
Yuji NAGAO

**CROSSING
YAMAZEN 2021**



山善、この半期

2019.4.1 ~ 2019.9.30

4月

新中期経営計画
『CROSSING YAMAZEN 2021』が始動

「5つの大方針と取り組みテーマ」

- 1 国内事業の強化
↳ 自動化ニーズ等への対応強化
- 2 グローバル展開の加速
- 3 機能商社化による収益力強化
- 4 eコマースの拡充
↳ 品揃え等の拡充
- 5 事業拡大を支える経営基盤の強化

7月

どてらい市
「自動化ゾーン」倍増で提案

生産財と消費財の展示商談会「2019大阪どてらい市」がインテックス大阪で開催されました。昨年の倍の広さになった「自動化ゾーン」では、スマートファクトリーをテーマに、物流やIoT等の商品やシステムを提案しました。



7月

ベトナム
ハノイ事務所を拡張、移転

事務所スペースを拡張し、ショールームの2階に移転しました。業容の拡大著しいハノイ拠点を一カ所に集約することで、情報共有の促進、業務効率の向上を図り、売上拡大を目指してまいります。



9月

ノルウェーのヒーターブランド
「mill」取り扱い開始

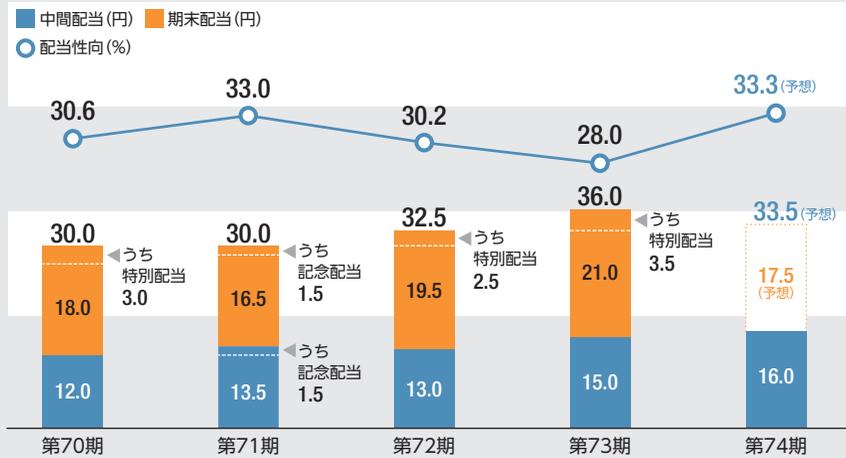
「mill」の日本総代理店となり、ヒーターシリーズを全国の家電量販店やインターネット通販で販売。今後も多彩なラインナップで、品揃えの更なる拡充を目指します。



配当について

当期の中間配当は1株当たり16円とさせていただきます。また期末配当は1株当たり17.5円を予定しております。

今後とも、株主の皆様への安定的な配当の継続を基本に、利益水準を考慮し更なる配当水準の向上に努めてまいります。



会社概要

(2019年9月30日現在)

商号 株式会社 山 善
設立 1947年5月30日
資本金 7,909百万円
本社所在地 大阪本社 〒550-8660
 大阪市西区立売堀2-3-16
 東京本社 〒108-8217
 東京都港区港南2-16-2
 太陽生命品川ビル

主要取引銀行 みずほ銀行・りそな銀行・三井住友銀行・三菱UFJ銀行・みずほ信託銀行

従業員数 3,107名(連結)

建設業許可 国土交通大臣許可

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日 3月31日
 (中間配当を行う場合は9月30日)

定時株主総会 6月下旬

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載(ただし、やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

取締役

代表取締役社長	社長執行役員	長尾 雄次	最高経営責任者(CEO) 最高執行責任者(COO)
代表取締役専務	取締役役員	野海 敏安	営業本部長(東京駐在)
取上級執行役員	取締役役員	合志 健治	最高情報責任者(CIO) 経営企画本部長
取上級執行役員	取締役役員	山添 正道	最高財務責任者(CFO) 管理本部長
取上級執行役員	取締役役員	岸田 貢司	生産財統轄部長
社外取締役	取締役役員	井関 博文	
取常勤監査等委員	取締役役員	村井 諭	
社外取締役等委員	取締役役員	加藤 幸江	
社外取締役等委員	取締役役員	津田 佳典	

株式のお手続きに関するお問合せ先

口座の種類	証券会社等に口座をお持ちの株主様	証券会社等に口座がない株主様(特別口座)
お手続きの内容	お取引のある証券会社等に直接お問合せください。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
お問合せ先		☎ 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お取扱窓口		みずほ信託銀行及びみずほ証券
未払配当金の請求*	みずほ信託銀行及びみずほ銀行	

*お支払開始日から満3年を経過した配当金につきましては、お受取ができなくなりますので、ご注意ください。



当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。